

2007(平成19)年度重イオン核物性実験装置・イオンビーム分析実験装置マシントイム表

(2007年5月7日 決定)

(日付は月曜日)

	5	6	7	8	9	10	21	28	4	11	18	25	2	9	16	23	30	6	13	20	27	3	10	17	24	1	8	15	22	29																
重イオン	R	A	R	R	j	D	f	R	R	R	A	R	m	D	R	R	R	A	j	分	R	学	R	学	学	m																				
ビーム分析	R	R	f	R	R	R	R	e	y	R	m	R	R	R	R	j	R	x	j	e	R	R	f	分	維	R	R	o	e	R	R	R	m	y	f	R	R	j	x	j	e	R	学	R	学	R
	10	11	12	2008.1												2	3																													
	29	5	12	19	26	3	10	17	24	31	7	14	21	28	4	11	18	25	3	10	17	24	31																							
重イオン	学	A	R	R	D	m	R	A	m	R	×	f	j	R	D	R	R	R	D	m	R	A	分	維	×																					
ビーム分析	R	学	R	分	学	R	R	e	y	R	R	R	R	R	R	j	y	x	j	×	e	分	R	R	R	R	o	R	R	R	R	e	f	分	R	R	R	j	j	m	m	維	×			

注：pはプロトン、 はヘリウムイオンを使用する事を表します。

略号	実験題目、所属、実験責任者、連絡者、TEL	略号	実験題目、所属、実験責任者、連絡者、TEL	略号	実験題目、所属、実験責任者、連絡者、TEL
A	イオンビームによる核材料の研究 工、原子核 高木郁二(16-5838) 池上、小林(16-5294,16-5833)	f	PLD法で作成した酸化物薄膜の結晶性と組成分析 工、材料化学 藤田晃司(15-2432) 的場(15-2434)	y	イオンビームを用いて作成した薄膜の結晶性及び組成の解析 工、光・電子理工学教育研究センター 高岡義寛(15-2329) 川下(15-2330)
D	エネルギー材料の照射と分析 工、原子核 森山裕丈(16-5824) 森谷(16-5837) 益田(16-5833)	j	イオンビーム装置の開発とその応用に関する研究 工、電子工学 後藤康仁(15-2279) 神澤、小嶋(15-2274)	学	原子核工学コース学生実験 工、原子核 秋吉優史(16-4837) 柴田(16-3354) 今井(16-5846) 土田(17-4895) 法沢(17-4887)
R	高真空内液体標的の粒子線照射効果、量子ビーム生体高分子衝突反応の素過程解明とその応用、照射環境下物質の過渡現象のその場観察、大気PIXE分析の高度化利用。 工、原子核 伊藤秋男(16-5821) 柴田(16-3354) 今井(16-5846) 工、量子理工学研究実験センター 松尾(17-3973) 神野(17-4894) 土田(17-4895)	m	高速イオンと表面の相互作用 工、マイクロエンジニアリング 木村健二(16-5253) 中嶋(16-5268)	分	イオンビームによる分析支援サービス 伊藤秋男(16-5821) 土田(17-4895)
		o	表面自己組織化金属薄膜の構造評価 国際融合創造センター 落合庄治郎(16-4834) 奥田(16-5193)	維	予備、加速器性能維持、保守点検 維持グループ 伊藤秋男(16-5821) 柴田(16-3354) 松尾(17-3973)高木(16-5838)神野(17-4894) 今井(16-5846)土田(17-4895)法沢(17-4887)
e	物理蒸着した薄膜試料の組成分析 国際融合創造センター 井手亜里(16-5259) 中尾(16-5257)	X	機能性薄膜材料の組成分析 工、材料 伊藤和博(16-5472) 着本(16-5472)	【電話】学外からは次のようにダイヤルして下さい。 15-XXXX 075-383-XXXX (桂) 16-XXXX 075-753-XXXX (吉田) 17-XXXX 0774-38-XXXX (宇治)	

マシントイム始めと終わりの月曜日には必ず加速器利用者懇談会に出席して下さい。(重イオン2階、午前9時30分より)【京都大学大学院工学研究科附属量子理工学研究実験センター】